

# DCTMダイチャレ東北ミーティング 2014

## by D-SPORT

### 規則書

#### 【DCTM実行委員会・コアスタッフ】

実行委員長：兵藤 忠彦 (713R's GARAGE)  
副委員長（音響）：立川 雅一  
コース委員長：阿部 豊和  
コース委員：横倉 忍・菊田 真弥・齋藤 雅和・大橋 史佳  
鈴木 歩・立川 司・宗像 晶子  
撮影担当：佐藤 圭  
D J：ワッキー貝山・せつな (エフエムたいはく)

#### 【開催形式】

- ・ジムカーナ風ミニサーキットタイムアタック
- ・本戦は4回走行した合計タイムで各クラスごとに順位決定し、全クラス6位まで表彰
- ・フリー走行は本番同様のコースでタイム計測や実況も行うが、順位や賞典は無し

#### 【ドライバーの参加資格】

- ・参加する車両を運転できる、有効な運転免許証を持っている
- ・飲酒や薬物使用による運転への支障が無い
- ・規則に定められた安全装備を着用

#### 【車両の参加資格】

- ・基本的には5分以内に完走できそうなら、どんな車両でもOK  
(バイクや自転車で走った人もいます)
- ・改造制限は無いが、ナイターでライト無し、雨の日にワイパーが無い、そもそもドアが無いなど、安全規則 (別途安全規則を参照) で危険とみなされてはダメ
- ・オープンカーはコペンなど金属製ルーフを持つものに限り、ロールバー無しでも参加できる。  
それ以外は方式は問わないが、転倒時に搭乗者の安全性が確保できる装備があれば参加可能 (頑丈な2点以上のバーなど。4点・6点式以上のロールバーは必須では無い。)

**【参加申込書に記載された個人情報の利用について】**

- ・「個人情報」とは、本名、住所、電話番号、生年月日、年齢、血液型、性別、メールアドレス、緊急連絡先を指す。
- ・参加申込書に記載された個人情報は、以下にのみ用いる。
  - 救急措置など、医療関係に必要な情報提供
  - 参加者が自力連絡できない場合の、緊急連絡先への連絡
  - 主催者からの連絡
  - 次回以降のイベントの案内

**【参加受付期間】**

- ・参加受付期間は開催日の1ヶ月前から**6日前まで**。
- ・参加料の入金または決済をもって、受付とする（当日支払不可）

**【申込方法】**

- ・申込方法その1：受付期間内に設置されるWEBフォーム  
(<http://www.713r-garage.jp/event/2014/dctm2014entry.htm>)
- ・申込方法その2：郵送（現金書留）
- ・申込方法その3：FAX（支払いは銀行振込または郵便振替）
- ・申込方法その4：E-MAILで必要事項を送信（支払いは銀行振込または郵便振替）
- ・1台で2人までエントリー可能（ダブルエントリー）
- ・申込は1人1通として、ダブルエントリーは各自提出する
- ・参加車両以外のフリー走行は受付時間・昼休み・第4ヒート終了後に本部でチケットを販売。

**【参加料】**

- ・12,000円（フリー走行無料走行込）
  - ・割引制度あり（開催概要参照）
  - ・参加車両以外のフリー走行は1台2,000円で走り放題
  - ・参加受付後は主催者や会場の都合で中止の場合を除き、参加料は返還されない。
- ※参加受付期間内に特別な理由での申し出が無く入金または決済されない場合、自動的にキャンセルになる他、以後の申込をお断りする場合があります。  
（「近くに銀行や郵便局が無い、行く暇が無い」という理由は受付できません）

**【申込先】**

〒984-0826  
宮城県仙台市若林区若林4丁目8-6-2  
713R's GARAGE 兵藤 忠彦  
電 話：022-707-4602  
FAX：050-3156-7552  
E-MAIL：info@713r-garage.jp

**【当日の参加確認】**

- 本戦参加の方は、当日朝の受付時間開始後に、本部前の受付で本名かエントリー名を申告、ゼッケンその他を受け取る
- フリー走行に参加する場合、本戦に参加している車両であれば、ゼッケンを貼ってあればフリーパス（ゼッケンを剥がした状態や、別の車にゼッケンを貼り直してのコースインは不可）。
- フリー走行に参加したい本戦参加以外の車両は、受付時間・昼休み・第4ヒート終了後いずれかの時間に本部で販売されるチケットをボディ左側の、外側から見えるどこかに貼る（チケットには車種やナンバーも記載するので、発行された車両以外に貼るのは不可）。
- フリー走行については、あくまで「車両」に対する参加資格と参加料であり、ドライバーは参加者や申込者以外でも「ドライバーの参加資格」を満たしていれば誰でも可。

**【クラス分け】**

『はええっちゃ!』: 上級者

『LN』: NAの軽自動車

『LT』: ターボやスーパーチャージャーの軽自動車

『おーとま!』: CVTを含むオートマの軽自動車

『GA』: 軽自動車以外の全車両

『L』: 女性ドライバー (女性はL以外への出場も可能。)

※なお、2014年より「LN」「LT」のダイハツ縛りは解消。「そのた!」は軽自動車以外全車両の「GA」に再編。

**【参加可能車両】**

『LN』: NAの軽自動車で、出力増強装置を持たないもの。  
ハイブリッド車と電気自動車を含む。

『LT』: ターボかスーパーチャージャー付の軽自動車。  
NAでもNOSなど出力増強装置を備えればLT

『おーとま!』: オートマの軽自動車

『GA』: 軽自動車以外の全車両。二輪も含む。

『L』: 何でも可

『はええっちゃ!』: 何でも可

※フリー走行は5分以内にゴールできそうな車両であれば、何でも可

※各クラスのダイハツ縛りは無くなりました。

**【参加可能ドライバー】** ※『はええっちゃ!』のみ

『はええっちゃ!』

→基準合計タイム「4分40秒227」を切った事がある方

→または、これまでの実績が無くとも、上記基準タイムを切る自信のある方

→ただし、降格基準タイム「4分50秒ジャスト」を切れなかった場合、次に基準合計タイムを切るまで、このクラスには参加できません。

※なお、無条件で参加可能な方のエントリー名は、「713R's GARAGE」のHPで公開しますが、ネット環境の無い方などは電話等でお問い合わせしても結構です。

※また、無条件で参加可能なドライバーでも、参加は強制では無いので、通常のクラスへ出ても構いません。

### 【車両安全規則】

- ・車両の改造やナンバーの有無は、コース走行時の安全に支障が無いと判断されれば、自己責任で全て自由
- ・コース走行時の安全に支障がある例
  - 夜間にライトを装着していない
  - 雨天時にワイパーを装着していない
  - 車体の一部が常に路面に接触している
  - 視界が確保されていない（夜間のスモークガラス含む）
  - 運転手または同乗者の、車体に固定された座席が無い
- ・改造でエンジンの排気量が軽自動車枠を超えた軽自動車は、軽自動車専用のクラス（LN/LT/おーとま!）には出走できない
- ・走行時は、同乗者も含め乗車している側のドアと窓を閉めること
- ・同乗者が運転手同様の安全装備を装着すれば、乗車定員までの同乗走行可能
- ・故障で窓が閉まらなくなった車両は、窓をテーピングや網で代用し、走行中にドライバーの体の一部が外に出ない対策を取ったと認められれば出走可能
- ・車両に仮装や電飾、空力パーツ追加を行う場合は、走行中に脱落しないこと
- ・安全性に問題があると主催者が判断した車両は、イベント中でも主催者より改善を指示される事があり、従えない場合は失格となる

### 【オープンカー特別車両安全規則】

- ・金属製ルーフを純正装備していないオープンカー（例：リーザスパイダーなど）は、転倒時に頭部を保護する安全装備が必須だが、4点式・6点式のロールバーで無くとも、同じ役割を果たす装備があれば可とする。
- ・金属製ルーフを純正装備するオープンカー（例：コペンなど）は、上記の安全装備が無ければルーフを閉じて走行する事。
- ・ドア無しオープンカー（例：フェローバギーなど）は、ドライバーが二輪用のプロテクターなど安全装備を追加装着した上で、上記の安全装備があれば走行を認める。

### 【特殊車両安全規則】

- ・フォーミュラ（ジムカーナD車両やFJなど）はドライバーの安全装備のみで出走できるが、ドライバー背面の転倒時保護装備を外してはいけない
- ・カートは2輪と同じ扱いとし、プロテクターなどカート用のドライバー安全装備を必須とする

【ドライバー安全規則】

- 全てのドライバーおよび同乗者は、「ヘルメット」「グローブ」「動きやすい長袖長ズボン、またはそれに準じた服装」「運転に適した靴」を装着しなければ出走できない
- 加えて、動力付き二輪車（原付除く）やドア無し車両、カートについては、体を防護するプロテクターもしくはモータースポーツ用のライダースーツの装着を必須とする。
- 原付及び自転車については、体を保護するプロテクターや作業用ツナギの装着を推奨。
- 「ヘルメット」（※レンタルあり）
  - 頭の上から後部・側面まで同じ、FRPなど硬い素材で保護されるものであり、ソフト素材は認められない。
  - 半ヘルや工事用・作業用ヘルメットは耳あてがあっても不可
  - ヘルメットのおごひもを締めない限り出走は許されない
- 「グローブ」（※レンタルあり）
  - 指先まで隠れ、容易に脱げず、ハンドル操作に支障の無いもの
  - 軍手や通常の手袋は不可
- 「動きやすい長袖長ズボン、またはそれに準じた服装」
  - 肩を含む腕、足首を含む足が露出せず、運転装置に引っかかるなど支障の無いもの
- 「運転に適した靴」
  - サンダルやスリッパなど足の一部でも露出するものは不可
  - ブーツ、長靴、厚底靴など、極端に脱げにくいもの、足首の動きに制限がありダブつくもの、ペダルに引っかかるものなど、スポーツ走行に支障のあるものは不可。
  - 一般的なシューズなどで十分。
- 「その他」
  - アクセサリーは仮装は、運転や緊急時の脱出に支障が無いと認められる範囲で何でも可能

### 【走行規則】

- ・パイロンタッチ
  - スラローム区間のみ2本以上連続タッチでカウント  
(1本あたり5秒、最低10秒プラスされる)
- ・ミスコース
  - コースを設定通りに走らなかった場合やパイロンを左右逆に通過した場合はミスコースとなり、タイムは残らない
- ・リタイヤ
  - 何らかの事情で走行不能となった場合は、スタッフにハザードや手を振り、リタイヤの意思を伝える
  - 修理などで再出走するか、そのまま以後の出走を断念するかは、必ず本部に申告する
- ・再出走
  - 前走車がリタイヤしたなど、スタッフが赤旗などを振って走行を制止された場合は、無条件で再出走が認められる
  - 機械的なトラブルやクラッシュによるリタイヤは、修理後に走行可能と認められれば再出走が認められる
  - ドライバーの走行継続意思が無くなったなど、機械的な理由が無いリタイヤは再出走が認められない
- ・失格
  - 指定されたコース通りに走る意思が認められない場合はリタイヤ扱いで、以後の出走も禁止する
  - スタートから5分経過後もゴールの見込みが無いと認められた場合は、失格となる場合がある
- ・旗の種類
  - 日章旗：スタートシグナルが使えない場合のスタート合図
  - 黄 色：パイロンタッチ
  - 緑 ：パイロンタッチや安全上の問題無し
  - 赤 ：ただちに走行を停止せよ
  - 黒 ：ミスコース
  - チェッカー：ゴール後の指示誘導

### 【車両および運転手の変更について】

- ・車両の変更は、当日朝の受付時まで、なるべく早く申告する
- ・別クラスへの変更も認められる
- ・クラス変更に伴い、参加料の差額が発生した場合は返還または請求される
- ・車両トラブル発生時に限り、同クラスであればイベント中に車両の変更を申告する事ができる
- ・ドライバーの変更を行う場合は、当日朝の受付時に、変更後のドライバーの申込書を持参し申告する事で可能
- ・当日朝の受付後は、ドライバーの変更は認められない

**【走行前検査】**

- ・パドックでの車両および運転者の検査は原則行われませんが、スタッフが異常または危険を見つけた際は、確認の対象となる。
- ・走行前にコース入口やスタート地点で安全上の問題が無いか確認され、必要があればパドックに戻って修正を指示される場合がある

**【抗議】**

- ・他の参加者に対する抗議は、実行委員長に申し出ること
- ・当事者間の直接の紛争に関しては、主催者はこれを関知しない

**【警告】**

- ・イベント開催中、コース内外に関わらず危険行為や安全性の問題が発見された場合は、スタッフによる警告がなされる

**【罰則】**

**・「ブラックカード」**

運営に悪影響を及ぼす重大な違反があった場合。

- 即時退場となり、そのイベントの参加記録は取り消され、参加料金も返金されない。
- 以後 DCTM への参加禁止。
- 開催中の敷地への侵入も、退去を要請する。

**・「レッドカード」**

指摘された安全性の問題を故意に改善しなかったり、改善を拒否した場合。

または意図的な整備不良を含む、危険な走行を行った場合。

またはコース外も含む会場敷地内で故意に危険行為を行った場合。

- 即時失格（ダブルエントリーの場合、一方は走行を認められる場合もある）。
- 車両についてはフリー走行への参加は認められない。
- レッドカード1回目はそのイベントのみ適用。
- レッドカード2回目は3戦出場停止。
- レッドカード3回目はブラックカードとなる。
- なお、レッドカードの累積は消えない。

**・「イエローカード」**

コース外を含む敷地内で、危険行為や他の参加者の安全性を脅かす行為があった場合、理由の如何を問わず嚴重注意となる。

- 各ヒートでの走行中、またはその前後でパドックからの出入りの最中に発生した場合は、ペナルティとしてそのヒートに5秒加算される。
- イエローカードが3枚累積した場合にはレッドカードとなる。
- イエローカードの枚数は最初のカードが出されてから3戦でリセットされる。



**【罰則の判断と適用】**

- 罰則の判断は最終的に実行委員長か、その代行者が行う。
- 実行委員長またはスタッフの報告が判断基準となるが、参加者やギャラリーから抗議を受けて審査する場合、提出された証拠やスタッフの聞き取りから判断する。
- 罰則は参加者以外にも適用される場合がある。
- 罰則が適用された後の、当事者からの抗議は受け付けない。

**【危険行為について】**

- 以下の行為を代表的な「危険行為」として、スタッフより警告がなされ、改善が見られない場合には罰則が適用される。

- パドック内で徐行せず、速度を上げて走行する
- エンジンをかけたままジャッキアップを行う  
(特にタイヤを回すのは厳重注意)
- ドライバーが必要な安全装備を装着せずに走行しようとする
- 設定されたコースに従わない走行 (逆走も含む)
- パイロンを故意に跳ね飛ばす
- 慣熟走行時に、故意に前走者との車間を開け、スピードを上げる
- 車両安全規則を満たさない車両で走ろうとする
- コースに物を投げ入れる
- ガソリン携行缶など、危険物の近くで火気を用いる
- パドック内の車両通行スペース上に物を放置する
- スタート時やゴール後に、スタッフの指示や誘導に従わない
- クラッシュによる破損や車両トラブルで走行継続が困難なのに、無理やり走行を継続する事。
- 車の往来があるサーキット内で、幼児を一人で放置する
- その他、スタッフが危険と判断したもの全て

**【損害の補填】**

- ・参加者が参加車両とその付属品を破損、紛失、盗難等の場合、ならびに他の参加者や来場者の器物や車を破損した場合は、理由の如何を問わず各自が自分で責任を負うこと
- ・参加者や付き添いの方は、主催者が一切の損害補償の責任を免除されている事を了承し、参加者および関係者の死亡、負傷、車両損害等に対しては、主催者が一切の損害補償責任を負わないものとする
- ・ただし、参加者はイベント中の負傷に際し、主催者に対して、その加入している損害保険の適用の可否を確認する事ができる。

**【イベントの成立】**

- ・本戦の第1ヒートが全車終了した時点で成立とする

**【イベントの延期、中止、短縮】**

- ・天災など不可抗力による特別な事情がある時は、主催者によってそのイベントの延期、中止またはコースや走行回数の変更、フリー走行の中止を決定できる
- ・延期の場合は、参加料は延期後の開催日まで主催者が保管するが、参加者が延期されたイベントへ参加しない場合、またはイベントの中止が決定された場合、参加料は返還される

**【規則書の解釈】**

- ・この規則書の解釈について疑問がある場合は、主催者の回答を最終的な解釈とし、主催者は速やかに公表する。